

この夏の自分から Do⇒up!!

青少年リーダー育成研修会

年齢も学校も違う仲間と一緒に、野外活動、キャンプファイヤーなどのさまざまな体験ができる「青少年リーダー育成研修会」の参加者を募集します。

かけがえのない夏を過ごしませんか？

日時・内容 右表参照

※都合により変更となる場合があります。

会場 市役所、ネッツたまぐーセンター、国立赤城

青少年交流の家 ほか

対象 市内在住の小学5年生～高校生

※原則として全日程参加できる方

定員 42人(抽選) 費用 9千円(宿泊代を含む)

申し込み 5月9日の午後5時までに電話または電子メール

div7050@city.ome.lg.jpで住所、氏名、性別、電話番号、学校名・学年、参加経験の有無を社会教育課へ

日時・内容

	日時	内容
①	6月19日(日) 午前9時～午後3時	開講式
②	7月 3日(日) 午前9時～午後3時	卒業生企画
③	7月24日(日) 午前9時～午後3時	力又一体験
④	8月 7日(日) 午前9時～正午	結団式
⑤	8月18日(木)～21日(日)	宿泊研修
⑥	8月28日(日) 午前9時～午後3時	閉講式



ぜひ参加してみよう!



オススメポイント

- 上下関係がない!!
- みんな仲が良い!!
- 宿泊研修がある!!
- 学校は休校中!!

就学相談を受け付けています

楽しい学校生活を送るために

就学相談室では、特別な支援を必要としているお子さんの入学や転学などについて、保護者からの相談を受け付けています。特別な支援が必要と思われる次に該当するお子さんの保護者は、期限までに相談ください。

▽来年4月に、小学校へ入る方、中学校に在籍し、特別な支援が必要と思われる方、9月30日(金)まで

▽小学6年生の特別な支援が必要と思われる方で、中学校進学について相談したい方、7月29日(金)まで

▽小・中学校に在籍し、特別な支援が必要と思われる方、9月30日(金)まで

▽自宅学習用として、自宅にネット環境があること(スマホでのテザリング可)

▽自宅学習用として、自宅にHDMI端子付き

文化財住宅・青梅市吉川英治記念館での五月人形展示

5月5日は、「端午の節句」とも言われ、男の子の健やかな成長を祈願することと知られています。

旧宮崎家住宅、旧稲葉家住宅として青梅市吉川英治記念館にて、五月人形を展示します。ぜひ来館ください。

期間 4月29日(祝)～5月22日(日)

入館料 旧宮崎家住宅・旧稲葉家住宅：無料

青梅市吉川英治記念館：大人500円、小・中学生200円



△鎧飾り

子どもIT未来塾

子どもIT未来塾 ラズベリーパイによる小中学生から学べる本格的ソフト・ハードプログラミング教室

「子どもの能力には限界がない」として、キーボード操作から最新技術まで、おもちゃの制御、家電製品の赤外線制御、音声認識、合成、WEBデータの活用など楽しく学びます。

講師 東海大学教授 清水尚彦氏、会津大学准教授 奥山祐市氏、ゲームプログラマー おにたま先生

日時 6月25日、26日、7月23日、24日、8月20日、21日、9月24日、25日、10月8日、9日の土・日曜日 午後1時～5時

費用 7千円(教材代の一部、初回集金)

会場 市役所会議室、羽村市産業福祉センター

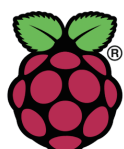
対象 小学5年生～中学2年生で次の条件を満たす方

▽全回参加でき、電子工作やプログラミングに興味を持っていること

申し込み 5月23日(必着)までに往復ハガキに(往信裏)住所、氏名、電話番号、性別、学校名、学年、メールアドレス

申し込み 5月23日(必着)までに往復ハガキに(往信裏)住所、氏名、電話番号、性別、学校名、学年、メールアドレス

申し込み 5月23日(必着)までに往復ハガキに(往信裏)住所、氏名、電話番号、性別、学校名、学年、メールアドレス



市青少年委員協議会主催 ます釣りチャレンジ2022

日時 5月15日(日) 午前8時30分～午後3時30分

会場 成木市民センター、成木川

対象 小学4年生～中学3年生

講師 榎島弘隆氏

定員 先着20人(予約制)

費用 1人500円

持ち物 マスク、着替えに必要なもの、ビニール袋(大)、軍手、筆記用具

申し込み 受付サイト(下記2次元コード参照)または電話で市青少年委員協議会事務局(社会教育課内)へ



青梅市の文化遺産64 膳椀と膳椀倉

市文化財保護指導員 三好ゆき江

今回紹介する膳椀は、共同で所有・利用された膳・御椀などの食器や道具類です。冠婚葬祭時には日常使いより高級で多人数分の揃いの膳椀が用いられたため、個人常備より共同購入して使用するようになりまし

膳椀倉は膳椀を保管する建物の総称です。市内で膳椀が共有された時期は、各地区の膳椀を収納する木箱の墨書によると、江戸時代末の天保4年(1833年)から明治・大正時代として昭和29年(1954年)まででした。膳椀倉は平成30年(2018年)の聞き取り調査で、かつては47か所あったのが17か

所にも市内には17か所もの膳椀倉が残されていますが、布袋や紙で包まれますが、布袋や紙で包まれますが、布袋や紙で包まれますが、布袋や紙で包ま



△膳椀